

2018～2019年度
第3回長期計画委員会

議長： 地区名誉顧問会議長 L. 吉村 千鶴子
司会： キャビネット幹事 L. 若松 忠洋

《日時》 2019年2月22日(金) 15:00～16:00
《場所》 ANAクラウンプラザホテル沖縄ハーバービュー 2F「白鳳の間」

1 開会宣言

2 出席者紹介

3 議長挨拶 (L. 吉村千鶴子よりご挨拶をいただいた)
(趣旨)

皆様方の御意見をいただきながら会を進めさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

今回の議案は年次大会の件と次期ガバナー等の立候補に関する件とライオンズクエストに関する議案が3件となっておりますのでスムーズに会が進むよう御協力を願いたい。

4 地区ガバナー挨拶 (L. 曾山純廣)

キャビネット会議と重複するということで省略された。

5 議事

(1)第65回年次大会関係について L. 若松より

①・②・③についてL. 若松より説明があり、多数決によりキャビネット会議に上程された。

(2)次年度地区ガバナー立候補者並びに副地区ガバナー立候補届に関する件 L. 曾山より

地区ガバナー立候補者L. 玉城清重・第一副地区ガバナーL. 寿浦数馬・第二副地区ガバナーL. 金沢幸一についてL. 曾山より紹介がなされ多数決によりキャビネット会議に上程された。

(3)長期計画委員会への提案事項

議案①・②について沖縄R2Z・ZC・L. 又吉より

前回の第64回年次大会においてライオンズクエスト事業もLCIF交付金事業も継続してやっていこう決議しているのでこの議案は取り下げたいとの説明があった。

議案③について地区名誉顧問L. 百田より

- L. 百田 この提案の前にライオンズクエスト特別会計の支出について交付金対策費とクラブ助成金について取決めみたいなものがあったか、ワークショップを開催したときの支出の詳細などを教えて欲しい。
- L. 新山 収支に関してワークショップ開催の現状。交付金の75%つまり270万円程度と地区協力金105万円これを合わせた額で全てが賄えている。
- L. 百田 1回のワークショップを開催することによっての交付金はいくら出しているのか。
- L. 新山 交付金から75%1回平均60万円程が割り当てられている。
- L. 松元 補足で交付金対策費とは口座の中に残高がないと交付金が出ない。なのでこれは絶対に残しておかないといけない。
- L. 百田 D地区がクエスト事業を取り入れて約10年、11年、始まった当初は各リジョン2回ずつ計4回を一つ50万とみて200万円程度で取り組みましようだったがもうそろそろクエストの回数を4回以上に増やしてい

ないとクエストが広がっていかない。受ける先生方にも3分の1くらいずつは負担をしていただいて回数を増やしていこうという一つの提案。

- L. 新山 交付金を使用できるのが75%。だから地区は残りの25%を用意できているのかということで証明するお金がないと交付金がおりにこない。現在は1回のワークショップが60万円と計算して6ワークショップ分の予算で考えている。ただし宮古島市は自分たちでやっていこうと市の予算をいただいている。なのであと2回分どこかに回すことができる。一方で予算だけとっておいて開催できなければ返金をしなければならない。増やすことは可能だが絶対に開催できるのかが問題になってくる。決して予算が足りないからできないという状況ではない。
- L. 百田 交付金がどこで管理されているのか明確にすることと、もっと分かりやすい収支にして欲しい。そして負担それぞれの先生方にもしてもらえば6回、7回と回数が増えるのではないかという提案なんです。クエストの教材もペーパーではなくパソコンで見れるようなものもあるらしい。
- L. 新山 確かにテキスト代を軽減することで回数を増やすことはできる。
- L. 又吉 伊平屋島では教育長がトップになってクエストの事業をカリキュラムに組んで取り組んでいるがここまでくるのにかなりの苦勞があった。先生たちはこんなに忙しいのにこれを受けなくてもいいという中で苦勞してきた。負担してもらうのは時期尚早ではないか。これに対しては反対。
- L. 新山 今すぐに負担をいただかないと回らないという状況ではないのでクエストが広がりつつ中でこれが拡大の妨げになるのではと思う。方向性としては百田名誉顧問のお気持ちは引き継いでいきたい。

※ 検討し、年を重ねて話し合いをしていくことが多数決で決まった。報告ということでキャビネット会議に上程することになった。

以上

議事録作成人

キャビネット会計

松元 武

議事録署名人

地区GST委員長

尾辻 伸朗



地区FWT委員長

三反田 三寿代

